

# クルーズ振興について

---

平成31年2月25日

四国地方整備局 港湾空港部

# 四国における瀬戸内海クルーズ振興に向けた提言書【概要版】

世界に誇れる文化、歴史、景観を有する瀬戸内海に面する四国海域において、瀬戸内海の多島美や瀬戸内諸島の個々の魅力を最大限生かし、クルーズ船の更なる寄港拡大を実現するため、港湾管理者、地元観光関係者、商工関係者等による「四国における瀬戸内海クルーズ振興検討会」（平成29年5月22日設置）において、クルーズ振興についての提言をとりまとめた。

## クルーズ振興の進め方

（瀬戸内海の魅力を活かしたクルーズツアーの検討）

○瀬戸内海の魅力を十分に活かしたクルーズツアーの検討

（地元の受入体制の充実）

○地元関係者が誘致に向け、協力。

○更なるクルーズ船の増加・定着につなげていくため、官民が一体となった誘致や受入体制の充実を図るための推進体制の構築、おもてなしの更なる充実

（積極的な誘致活動）

○あらゆる機会を通じた誘致活動や、地元関係者のクルーズ船への理解・関心の促進

（クルーズ船旅行客への地域の観光情報の提供）

クルーズ船旅行客への地域の観光情報を効果的に提供するため、Wi-Fi環境等の設置

（SOLAS、CIQ等への対応）

○バス・タクシーや一般市民が安全に埠頭内に入るために必要な安全措施の実施

○港におけるCIQ手続きを埠頭内で行う場合は、クルーズ船旅行客への負担に配慮

（港湾貨物とクルーズ船との競合）

○クルーズ船の寄港岸壁が港湾貨物と競合する場合は、港湾管理者は利用者との調整を速やかに実施

（クルーズ船に対応した港湾施設の改良）

○大型クルーズ船等の入港により、港湾施設の改良が必要となる場合は、既存施設を有効活用した整備を実施



しまなみ海道と夕日



書道パフォーマンス

# 四国における瀬戸内海クルーズ振興に向けた提言書【概要版】

「高松・坂出WG」及び「松山WG」で議論した取り組みは以下のとおり。

## 高松港及び坂出港へのクルーズ船寄港促進に向けて

- ① 備讃瀬戸東航路における巨大船の夜間航行規制等の制約を前提に、誘致活動を行うこと。  
 夜間航行規制のない小型船(ラグジュアリー船)については、積極的な誘致を図ること。  
 巨大船については、高松港へ入出港する際、巨大船と他の船舶双方の安全確保の観点から、備讃瀬戸東航路と代替航路の2ルート<sup>1)</sup>の存在を積極的にPRすること。  
 船型を問わず、瀬戸内海の多島美や瀬戸内諸島の魅力を最大限活かし、小豆島(坂手港沖)や直島(宮ノ浦港沖)などによる沖泊からの通船によるエクスカーションツアー等、クルーズプランの可能性も検討すること。
- ② 高松港においては、大型クルーズ船対応の港湾施設の整備や航行安全検討がなされており、今後は、クルーズ船の着実な寄港の実現に向け、既存の推進体制を活かし、地元関係者がソフト面にかかる受入環境の更なる充実を図ること。また、港湾貨物と競合する際には、関係者による円滑な調整を図ること。
- ③ 坂出港においては、大型クルーズ船の寄港に向け、坂出市が港湾施設の改良を検討するとともに、港湾貨物と競合する際には、関係者による円滑な調整を図ること。  
 クルーズ船の寄港促進のため、官民が連携して、おもてなしの一層の充実や寄港地での旅行、買い物、食事など、地元の受入環境を整えるための推進体制を構築すること。
- ④ 高松港・坂出港の連携をはじめ、瀬戸内海各港で連携体制の充実を図り、クルーズ船寄港要請の「お断りゼロ」を目指すこと。



通船またはテンダーボートを利用したエクスカーションの例

## 松山港へのクルーズ船寄港促進に向けて

- ① クルーズ船の寄港促進のため、官民が連携して、おもてなしの一層の充実や寄港地での旅行、買い物、食事など、地元の受入環境を整えるための推進体制を構築すること。
- ② 松山の魅力を活かすとともに、しまなみ海道のサイクリングツアーなど、周辺の観光資源と連携したクルーズプランの提案などにより、広く内外のクルーズ船の寄港誘致活動に積極的に取り組むこと。
- ③ 外航クルーズ船の寄港にあたっては、バス・タクシーや一般市民が安全に埠頭内に入れるよう、必要な安全措置を講じること。  
 CIQ手続きを埠頭内で行う場合は、必要に応じ、仮設テントの設置など、クルーズ船旅行客への負荷に配慮すること。
- ④ クルーズ船の寄港岸壁が港湾貨物と競合する場合は、関係者による円滑な調整を図ること。
- ⑤ 松山港は、大型クルーズ船を安全に係留させるための岸壁能力が不足していることから、四国地方整備局・愛媛県等の関係機関が、既存施設を活用した港湾施設の改良に着手すること。
- ⑥ 大型クルーズ船の航行安全対策の検討を含めて受入環境を整え、多様なクルーズ船が安全に寄港できる環境を整えること。



道後温泉

○国土交通省港湾局は、外国クルーズ船の我が国港湾への寄港促進を図るため、観光庁と連携し、海外クルーズ船社等と全国の港湾管理者等が参加する「全国クルーズ活性化会議」の会員との商談会を2014年から実施中。

## 2015年度

### ■ MSCクルーズ(伊)

- ・場所: 静岡市
  - ・参加者: 6港
- 青森港、高知港、北九州港、佐世保港、細島港、油津港

### ■ ポナン(仏)

- ・場所: 青森市
  - ・参加者: 8港
- 網走港、酒田港、鳥取港、高知港、博多港、細島港、宮崎港、油津港

### ■ シルバーシー・クルーズ(モナコ)

- ・場所: 下関市
  - ・参加者: 18港
- 茨城港、横浜港、舞鶴港、鳥取港、浜田港、福山港、高松港、高知港、宿毛湾港、北九州港、博多港、唐津港、熊本港、三角港、八代港、細島港、宮崎港、油津港

### ■ セレブリティ・クルーズ(米)

- ・場所: 京都市内
  - ・参加者: 6港
- 網走港、伏木富山港、神戸港、徳島小松島港、下関港、北九州港

## 2016年度

### ■ 中国船社・旅行会社(天海郵輪、カイサ郵輪)

- ・場所: 新潟市
  - ・参加者: 6港
- 横浜港、伏木富山港、金沢港、舞鶴港、北九州港、博多港

### ■ MSCクルーズ(スイス)

- ・場所: 名古屋市
  - ・参加者: 8港
- 室蘭港、四日市港、和歌山下津港、徳島小松島港、高知港、佐世保港、細島港、油津港

### ■ アザマラ・クラブ・クルーズ(米)

- ・場所: 函館市
  - ・参加者: 12港
- 網走港、小樽港、大船渡港、茨城港、横浜港、伏木富山港、和歌山下津港、新宮港、日高港、鳥取港、北九州港、唐津港

### ■ ポナン(仏)

- ・場所: 仙台市
  - ・参加者: 21港
- 大船渡港、能代港、船川港、秋田港、茨城港、横浜港、新潟港、小木港、二見港、両津港、伏木富山港、下田港、清水港、四日市港、京都舞鶴港、和歌山下津港、日高港、新宮港、鳥取港、徳島小松島港、唐津港

### ■ キュナード・ライン(英)

- ・場所: 福岡市
  - ・参加者: 15港
- 函館港、秋田港、酒田港、清水港、四日市港、京都舞鶴港、和歌山下津港、日高港、新宮港、広島港、岩国港、下関港、高松港、北九州港、佐世保港

## 2017年度

### ■ 天海郵輪(中)

- ・日程: 2017年10月11日 10月13日
  - ・場所: 敦賀市
  - ・参加者: 4港
- 新潟港、金沢港、伏木富山港、和歌山下津港
- ・場所: 京都市
  - ・参加者: 8港
- 堺泉北港、姫路港、広島港、清水港、徳島小松島港、高知港、宿毛湾港、四日市港

### ■ ノルウェー・クルーズ(米)

- ・日程: 2017年10月24日 10月27日
  - ・場所: 和歌山市
  - ・参加者: 3港
- 金沢港、高松港、広島港
- ・場所: 四日市市
  - ・参加者: 7港
- 室蘭港、岩国港、清水港、横浜港、舞鶴港、徳島小松島港、伏木富山港

### ■ ロイヤル・カリビアン・インターナショナル(米)

- ・日程: 2017年11月2日
  - ・場所: 敦賀市
  - ・参加者: 8港
- 函館港、金沢港、伏木富山港、清水港、神戸港、和歌山下津港、徳島小松島港、四日市港

### ■ ホーランド・アメリカ・ライン(米)

- ・日程: 2018年1月18日 1月19日
  - ・場所: 一ノ関市
  - ・参加者: 6港
- 青森港、酒田港、宮古港、仙台塩釜港、和歌山下津港、新宮港
- ・場所: 水戸市
  - ・参加者: 10港
- 館山港、敦賀港、福井港、金沢港、清水港、四日市港、徳島小松島港、高松港、高知港、宿毛湾港

### ■ ポナン(仏)

- ・日程: 2018年2月28日 3月2日
  - ・場所: 鳥取市
  - ・参加者: 11港
- 清水港、熱海港、伊東港、下田港、松崎港、土肥港、沼津港、姫路港、唐津港、熊本港、八代港
- ・場所: 徳島市
  - ・参加者: 12港
- 室蘭港、館山港、四日市港、舞鶴港、和歌山下津港、日高港、新宮港、高松港、新居浜港、高知港、宿毛湾港

## 2018年度

### ■ シルバーシー・クルーズ(モナコ)

- ・日程: 2018年10月31日
  - ・場所: 秋田市
  - ・参加者: 8港
- 宮古港、金沢港、神戸港、和歌山下津港、日高港、新宮港、鳥取港、徳島小松島港
- ・日程: 2018年11月2日
  - ・場所: 仙台市
  - ・参加者: 19港
- 室蘭港、茨城港、横浜港、敦賀港、福井港、清水港、熱海港、伊東港、下田港、松崎港、土肥港、沼津港、舞鶴港、高松港、松山港、高知港、北九州港、熊本港、八代港

### ■ MSCクルーズ(スイス)

- ・日程: 2019年1月9日
  - ・場所: 境港市
  - ・参加者: 5港
- 青森港、神戸港、和歌山下津港、新宮港、名古屋港、八代港
- ・日程: 2019年1月10日
  - ・場所: 広島市
  - ・参加者: 8港
- 秋田港、伏木富山港、金沢港、清水港、御前崎港、徳島小松島港、高知港、北九州港
- ※引き続きクリスタルクルーズ等を招聘して開催予定



# 上質な寄港地観光の造成に向けた船社と寄港地の取組

- クルーズ船社は、乗客の満足度向上等のため、寄港地観光の質の向上を求めている  
⇒(キーワードは「本物」や「特別感」)。
- 寄港地も、大型商業施設でのショッピングだけでなく、地元にある観光資源や地元商店への誘客を望んでいる。  
⇒クルーズ船社と寄港地とのパートナーシップを確立し、上質な寄港地観光プログラムの造成を促進
- これまで行われた意見交換
  - 第1,2回 開催日:平成30年4月12日、6月18日 (プリンセス・クルーズ社)
  - 第3回 開催日:平成30年6月22日 (ロイヤル・カリビアン・クルーズ・リミテッド)
  - 第4回 開催日:平成30年9月4日 (コスタ・クルーズ社)

## 取組事例



第1,2回PCL社との意見交換



第3回 RCL社との意見交換



第4回 コスタ社との意見交換



寄港地からの上質な寄港地観光プログラムの提案



### 第1回、第2回

主催:プリンセス・クルーズ社、  
国交省港湾局

出席:「ダイヤモンド・プリンセス」の  
寄港地の関係者

内容:上質な寄港地観光の造成に向け、寄港地(和歌山下津港、清水港等)から、「本物」や「特別感」を感じられる寄港地観光メニューを提案

### 第3回

主催:ロイヤル・カリビアン・クルーズ・リミテッド、  
国交省港湾局

出席:ロイヤル・カリビアン・クルーズ・リミテッド  
の寄港地の関係者

内容:上質な寄港地観光の造成に向け、八代港、鹿児島港等が、船社や他港と連携した寄港地観光メニューを提案  
寄港地が抱えるクルーズ船寄港に関する課題について、船社と国を交えたディスカッションを実施

### 第4回

主催:コスタ・クルーズ社、  
国交省港湾局

出席:コスタ・クルーズの寄港地の関係者

内容:上質な寄港地観光の造成に向け、船社に応じた寄港地観光メニューを提案  
寄港地が抱えるクルーズ船寄港に関する課題について、船社と国を交えたディスカッションを実施

- 本年4月4日、「マジェスティック・プリンセス」が徳島小松島港へ初寄港し、毎年恒例の「勝浦さくら祭り」(徳島県勝浦町)へ、台湾からのクルーズ旅客が訪問予定。
- 勝浦町は、「勝浦町インバウンド受入協議会」を設立し、受入体制やおもてなしに関する準備を積極的に推進。具体的には、中国語・英語版のパンフレット作成し、寄港前に事前に船内で配布するほか、無料の無線Wi-Fiスポットを20台設置。和服を貸し出して桜の前で記念撮影をしたものをSNSで発信して頂くことによる勝浦町の魅力発信、ブルーシートに座ってお花見弁当を飲食してもらうお花見体験、勝浦町の特産である「みかん」の試食や物産販売、舟下り・釣り堀、阿波踊り等地元団体の催し、などを実施する予定。



受入体制  
勝浦町インバウンド受入協議会  
構成員

生名ロマンの会
NPO法人阿波勝浦井戸端塾
勝浦町商工会
東とくしま農協勝浦支所
勝浦町地域活性化協会
勝浦町

2カ国語(英語及び繁体語)表記: 勝浦さくら祭り周辺MAP



日時	寄港地	入港	出港
4月1日 (日)	基隆		17:00
4月2日 (月)	クルージング		
4月3日 (火)	鹿児島	7:00	17:00
4月4日 (水)	徳島小松島港	12:00	23:00
4月5日 (木)	大阪	7:00	16:00
4月6日 (金)	宮崎	9:00	17:00
4月7日 (土)	クルージング		
4月8日 (日)	基隆	9:00	

■【徳島小松島港】平成30年4月4日 マジェスティック・プリンセス寄港時のツアーバスの予定

- ①徳島小松島港→勝浦町(ロマン街道)→美馬市脇町(うだつの町並み)→徳島小松島港
- ②徳島小松島港→勝浦町(ロマン街道)→鳴門市(鳴門公園・渦の道)→徳島小松島港
- ③徳島小松島港→勝浦町(ロマン街道)→徳島小松島港(シャトルバスで往復)
- ④徳島小松島港→阿波おどり会館→勝浦町(ロマン街道)→徳島小松島港
- ⑤徳島小松島港→徳島中央公園(ミニマラソン)→勝浦町(ロマン街道)→徳島小松島港

勝浦川の支流である生名谷川に沿って、約1kmにわたり立ち並ぶ桜並木。散策しながらのお花見も楽しみ、家族連れやカップルに人気がある。近くにビッグひな祭り会場の『人形文化交流館』がある。



- 平成29年12月19日、徳島県は、寄港地観光やおもてなしなど、県内各地域の持つ魅力を一体的に発信し、積極的なポートセールスを実施することで、クルーズ客船の寄港拡大に繋げることを目的として、ポートセールス連絡会を設立。
- 会員は、徳島県及び徳島県内市町村の関係部署で組織。会員以外でも、必要に応じてオブザーバーとして参加を認める。
- 県及び市町村の情報交換や連携した取組について議論を行うと共に、民間事業者(旅行会社等)を招いて講演会等を実施し、クルーズに関する見識を高めていくこととしている。

## ポートセールス連絡会

### 【構成員】

<徳島県>

運輸政策課、観光政策課、国際課、南部総合県民局産業交流部及び県土整備部、西部総合県民局企画振興部及び県土整備部

<全市町村>

クルーズ客船の寄港、県内観光、おもてなしに関する業務の担当部署

第1回連絡会(H29.12.19)

- ①連絡会の目的
- ②徳島県のクルーズ客船寄港状況と今後の方向性について
- ③意見交換

第2回連絡会(H30.2.16)

- ①講演(旅行会社)
- ②事例発表
- ③意見交換



第1回連絡会

### 地元自治体職員による積極的なポートセールス(観光地案内)



徳島城博物館(徳島市)



霊山寺(鳴門市)



うだつの町並み(美馬市)

### 2市5町による物産販売



2017.5.26 ダイヤモンド・プリンセス寄港時

- 宇和島港では、クルーズ船寄港時に、地元の宇和島東高生により、外国人の名前を聞き、当て字の漢字を書いて渡すなどの創意工夫した「おもてなし」を実施。
- 平成30年4月12日、「ロストラル」寄港時、地元高校生と触れあう機会を設けようとクルーズ旅客が「宇和島東高校」を訪問するオプションツアーコースが初めて組み込まれ、埠頭ではなく学校での交流が実施。
- 宇和島商工会議所が他港(宇野港)での先進事例を学ぶため、宇野港で「おもてなし」を実施しているUNOICHI実行委員会の小倉理事長を招聘し、クルーズセミナーを実施する交流が開始。平成30年6月17日、「カレドニアン」寄港時に岡山県玉野市の玉野高生が宇和島港を訪れ、連携した「おもてなし」が実施された。平成30年10月20日には、宇和島東高生が宇野港のクルーズ船歓迎イベントに参加。
- また、宇和島商工会議所では、平成30年5月8日、訪日外国人の好みを把握しようと、埠頭で地元特産品を会員4社が初めて物販。

「初めての他港との交流」  
宇和島市で宇野港の取組を  
紹介するセミナー開催

外国クルーズ客船振興セミナー

外国クルーズ客船について一緒に考えてみませんか?

## 外国クルーズ客船と おもてなし

今年、宇和島市に外国クルーズ客船が12回寄港しました。寄港の際には、これかた太鼓の演奏、甲冑隊、牛鬼の展示、宇和島東高等学校の学生による乗船客の名前を漢字で書くサービスなどの趣向を凝らした「おもてなし」を行っています。本セミナーでは、岡山県玉野市宇野港の取り組み、イベントなどについて説明していただきます。このセミナーをきっかけに外国クルーズ客船について一緒に考えてみませんか?

講師 小倉 史史氏  
UNOICHI実行委員会 委員長

日程 平成29年 11月2日(木) 15:00~16:40

場所 きさいや広場 市民ギャラリー (併発町1-318-16)

観覧 ① 15:00 「宇和島市のクルーズ船の現状報告について」(109分)  
② 15:10 「外国クルーズ客船とおもてなし」(109分)

定員 80名(先着順) ※受講料無料

申込先 宇和島商工会議所 〒798-0060 宇和島市丸之内1-3-24  
TEL.0895-22-5555 FAX.0895-24-6655(担当 青木)

初めて、クルーズ旅客が宇和島東高を訪問



クルーズ旅客の名前を当て字の漢字で書いた色紙を手渡し



COLINさんを、当て字の漢字の「虎」「輪」とその意味を英語で表記



クルーズ旅客へ折り紙を手ほどき

宇和島東高生(宇和島市)と玉野高生(玉野市)と連携して「おもてなし」



「おもてなし」の前の両校の取組の情報交換



「UNOICHI」のオリジナル商品「ウォーターボトル」販売



両校生が握手して連携した「おもてなし」を開始

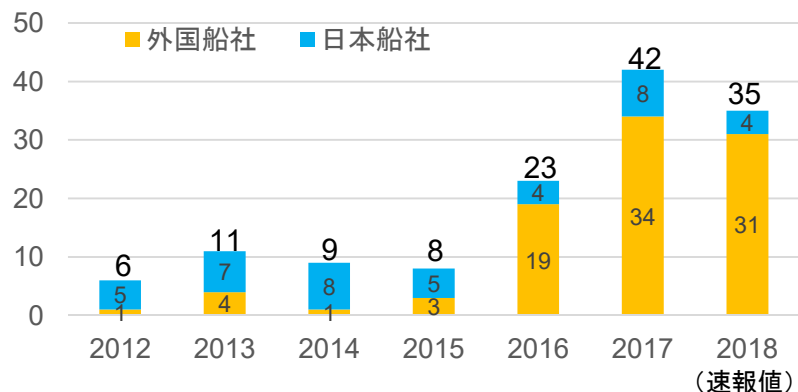




# 高知港におけるクルーズ船寄港への取組

- 外国人富裕層をターゲットとし、限られた滞在時間で地域で消費を促す「ゴールデンルート」を設定。クルーズ旅客を港から無料バスで中心市街地に送迎し、バスターミナルから観光名所である高知城に向かう道のりに商店街を巡るようコースを設定。「オセッカイスト」という市民ボランティアがきめ細かくニーズを聞き、お店の中に一步入るところをつなぐ等の取組を行っている。
- 地元デパートでは、外国人観光客のための「免税カウンター」を設置。デパートと商店街が提携し、商店街で買った商品でも、一括して免税手続きを行えるようにした結果、外国人の来客、売上は高い伸びを見せている。
- 高知県においては、この3年間で訪日外国人一人あたり消費額は大きく増加して全国第3位の約6.1万円(2017年)となり、全国平均約2.5万円の2倍以上。

## 【高知港における外航クルーズ船の寄港状況の推移】



出典：港湾管理者への聞き取りを基に国土交通省港湾局作成



### 「高知おせっかい協会」

外国人旅行者向けに体験型観光ツアーや通訳ボランティアを提供する市民団体。モットーは、「頼まれなくても世話を焼く」。外国人に知られていない店舗への案内をするなどして地元での消費のきっかけを作っている。



消費のゴールデンルート



商店街に訪れる外国人観光客



「クアンタム・オブ・ザ・シーズ」



「クイーン・エリザベス」

# 函館港におけるクルーズ船寄港にかかる取組

- 北海道の港湾では高校生によるおもてなしを積極的に推進。
  - 乗客や船社に非常に好評となっており、高校側も教育の場として港湾を貴重な場と認識。
  - 北海道開発局では、おもてなしを実施している高校を各種表彰に積極的に推薦。
- ※ 函館遺愛女子高校: 観光庁長官賞(平成27年)

## 私立函館遺愛女子高等学校のおもてなし



10年以上継続されている、生徒による  
通訳ボランティア (H19.5月～)



生徒自らの発案・企画による  
日本の文化体験 (H27.5月～)



外国クルーズ船社の訪問を受けて意見交換  
(H28.12月 アザマラ・クラブ・クルーズ)



港湾分野として全国で初めて、  
観光庁長官表彰を受賞  
(H27.10月 国際交流・日本文化  
の発信を評価)

キャプテンから特別にパスポート  
無しで船内招待 → 交流の深化



# クルーズ旅客の市街地へのアクセス向上(秋田港)

- 2018年の秋田港へのクルーズ船の寄港回数は16回(外国船社7回、日本船社9回)であった。
- 秋田港において、平成30年4月より秋田港駅と秋田駅を結ぶ「秋田港クルーズ列車」の本格運行を開始した。
- JR東日本秋田支社は既存の貨物用の線路を有効活用し、クルーズ乗船客専用の列車乗り入れを可能とするための停車場を設置。また、専用車両として「あきたクルーズ号」を投入。

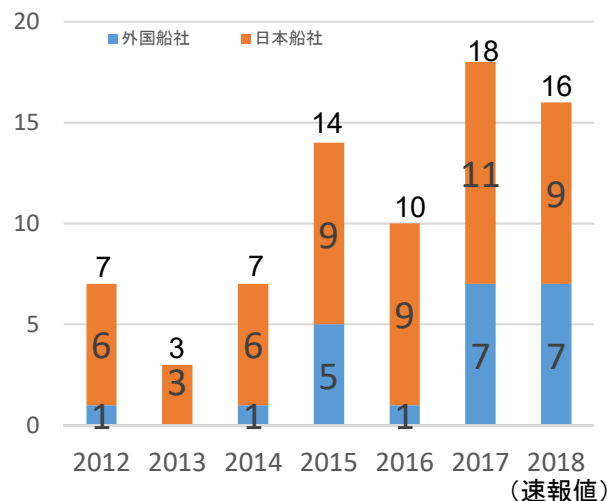
## 「秋田港クルーズ列車」の運行概要

- ・運行区間: 秋田港駅～秋田駅間(約9km)
- ・運行期間: 平成30年4月18日～11月3日
- ・運行日数: 延べ14日
- ・運転本数: 1～12本/日
- ・車 両: 4両編成



【あきたクルーズ号】

## 秋田港クルーズ客船寄港数の推移



## 秋田港駅 位置図



2018年4月18日 ダイヤモンド・プリンセス寄港時の様子

## 乗降施設

4両対応ホーム (L = 90.2m)、待合施設  
 2018年4月18日供用開始

※事業費のうち、一部を国際クルーズ旅客受入機能高度化事業にて支援



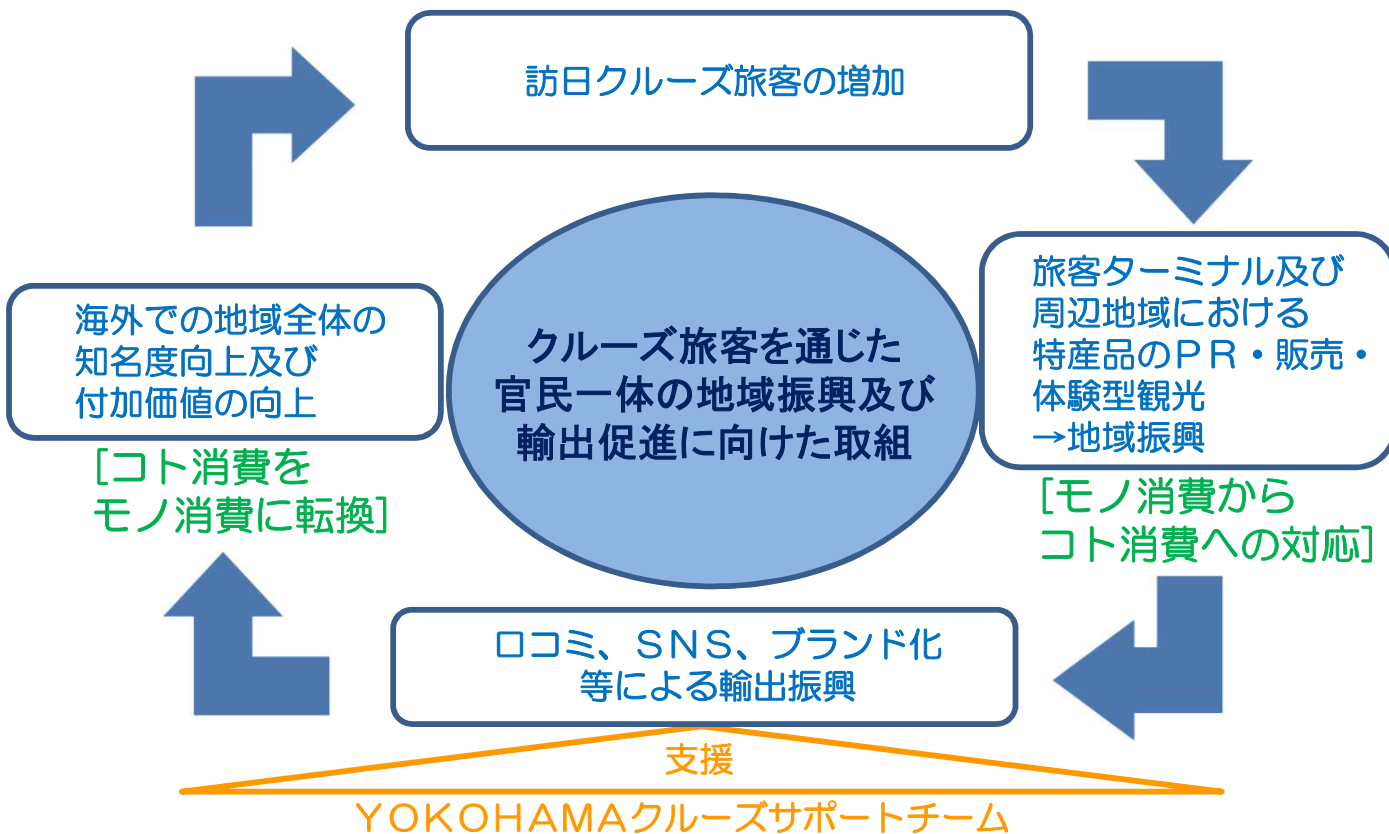
クルーズ列車に乗り込む乗船客

# 横浜港におけるクルーズ船寄港にかかる取組

- 平成30年3月、クルーズ旅客の満足度を高めるとともに、クルーズ旅客を通じた地域振興及び特産品の輸出振興を図るため、官民が連携して個別課題への支援を行うYOKOHAMAクルーズサポートチームを新たに結成。
- 地域振興及び特産品の輸出振興に向けた手引きの作成、寄港時の受入、おもてなしの課題をチームで共有し、対策を講じるなど、クルーズ旅客の満足度向上に努めている。

## 構成メンバー

横浜港振興協会、横浜ショッピングキャンペーン実行委員会、横浜観光コンベンション・ビューロー、ジャパンショッピングツーリズム協会、全日本マリンサプライヤーズ協会、ゲンティンクルーズラインスタークルーズ日本オフィス、(株)郵船クルーズ、(株)カーニバル・ジャパン、横浜川崎国際港湾(株)、横浜市政策局、横浜市文化観光局、横浜市港湾局、財務省 横浜税関、国税庁 東京国税局、国土交通省 関東運輸局、国土交通省 関東地方整備局



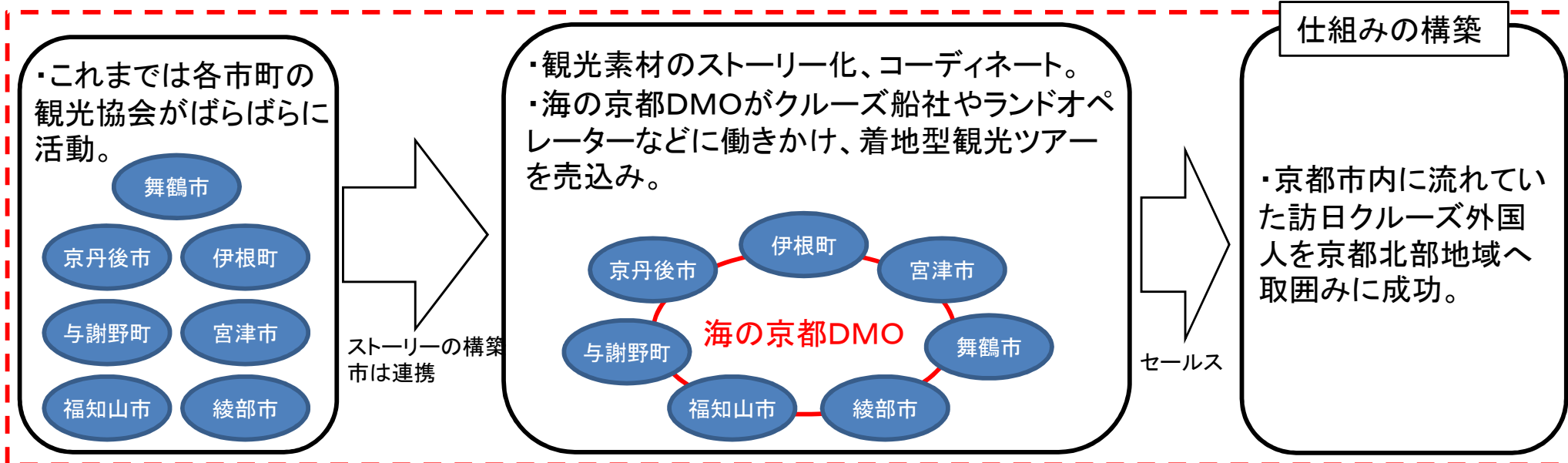
**クルーズ旅客を通じた地域振興及び特産品の輸出振興に向けた手引き (Ver.1)**

～YOKOHAMA のブランド価値向上を目指して～



2018年3月  
クルーズ旅客を通じた地域振興及び特産品の輸出振興に係る検討会

# 舞鶴港におけるクルーズ船寄港への取組



## 観光地域連携の効果



韓国からのクルーズ客で賑わう舞鶴とれとれセンター



韓国からのクルーズ団体客



寄港日に合わせて開催された食のイベント



その他に

- ・五老スカイタワー: 入場者数は普段(土日)の5倍、売店の売上は、普段の2倍増
- ・赤れんがパーク智恵蔵ショップ: 売店売上は普段(土日)の2倍
- ・まいづる観光ステーション(JR西舞鶴駅内): 来所300~400人
- ・光の湯(スーパー銭湯): 来場300人。昼には食事が売り切れ

# 八代港におけるクルーズ船寄港への取組

- 熊本県の地元企業は、平成29年1月1日に八代港へ寄港したロイヤル・カリビアン・インターナショナル社 (RCI社) の「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」へ、日本酒を初めて納入。その後、醤油やサーモンなど取扱品目が徐々に増えている。
  - 平成29年9月には、八代市の4社 (酒類販売、美容、運送、建設) が共同で、地元生産者らから飲料や農畜水産物などの食材を広く調達し、RCI社のクルーズ船へ販売することを目的とした専門商社 (船食会社) 「(株)KUMAMOTO・MARINE・INC」を設立。
- ⇒クルーズ旅客による爆買いではなく、新たな観光ビジネスが生まれている。

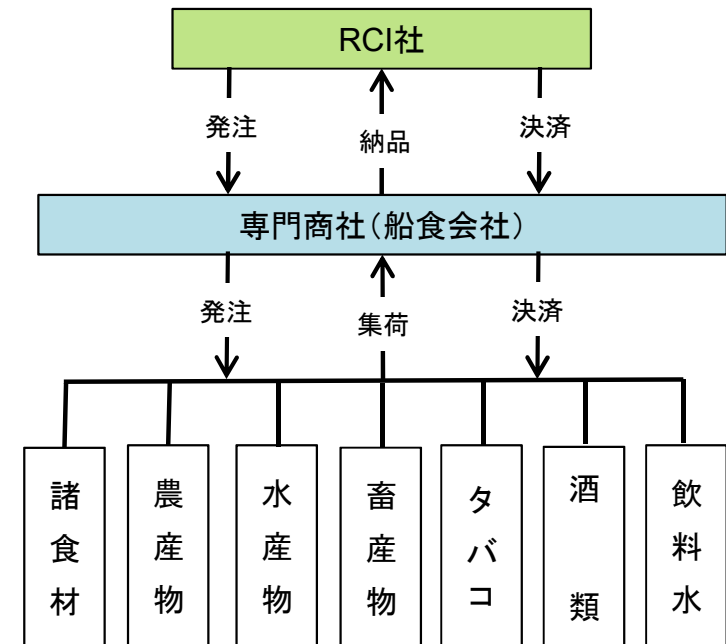
## クァンタム・オブ・ザ・シーズへの納入事例 (平成29年6月7日)

<p>日本酒3銘柄 24本</p> <p>通潤酒造 (株) ソワニエローズ 6本</p> 	<p>霊山酒蔵山村酒造 (株) 白川水源 12本</p> 	<p>瑞鷹 (株) 大吟醸「金」 6本</p> 
<p>球磨焼酎2銘柄 12本</p> <p>織月酒造 (株) 川辺 6本</p> 	<p>織月酒造 (株) 無言 6本</p> 	<p>醤油1銘柄 12本</p> <p>※国交省港湾局ヒアリングにより作成</p>

## (株)KUMAMOTO・MARINE・INCの主な業務内容

〔出資者: 宮崎商店、総合美容商社きむら、ファームテック、中山砂利〕

- ① RCI社からの受注業務、
- ② 取引業者へのオーダー伝達および集荷業務、
- ③ 通関業務、
- ④ RCI社への納品業務、
- ⑤ RCI社との決済業務、
- ⑥ 取引業者との決済業務



# クルーズ船への地元食材の提供(沖縄県)

- ゲンティンクルーズラインとJAおきなわ及びレオスポ株式会社が、2018年4月に販売契約に関する基本合意書を締結し、8月に船内レストランで使う食材を調達する覚書に調印した。
- クルーズ船内で提供する料理食材として、JAおきなわが沖縄和牛やあぐ一豚、黒糖等の沖縄の農畜産物を供給する。
- 2018年8月より積み込みが開始され、年末まで納入予定。
- JAおきなわは、ブランド食材の海外での認知度向上と将来の輸出拡大を目指す。



**販売契約**  
(H30.4基本合意書締結)



**GENTING**  
CRUISE LINES

LEOSPO

仲介



ゴーヤ



カボチャ



黒糖



沖縄和牛



沖縄あぐ一豚

2018年4月11日琉球新報

JAおきなわ、香港クルーズ社と提携  
客船料理に沖縄食材

輸出拡大狙う

同JAがクルーズ船へ食材を供給するは初めて、初回は10日(船内和牛とあぐ一豚の肉料理)を予定と発表し、一部食材は船内でも販売する。

10日、那覇新港に寄港した船中、ワールドドリーム(最大乗客数3千500人)の乗客が来泊する予定、JAおきなわは産物をはじめゴーヤ、カボチャなどの夏野菜や黒糖、シークワーサーゼリーの加工品も提供する。売り上げは千石を目標と見込む。

同JAがクルーズ船へ食材を供給するのは初めて、初回は10日(船内和牛とあぐ一豚の肉料理)を予定と発表し、一部食材は船内でも販売する。

10日、那覇新港に寄港した船中、ワールドドリーム(最大乗客数3千500人)の乗客が来泊する予定、JAおきなわは産物をはじめゴーヤ、カボチャなどの夏野菜や黒糖、シークワーサーゼリーの加工品も提供する。売り上げは千石を目標と見込む。

同JAがクルーズ船へ食材を供給するのは初めて、初回は10日(船内和牛とあぐ一豚の肉料理)を予定と発表し、一部食材は船内でも販売する。

10日、那覇新港に寄港した船中、ワールドドリーム(最大乗客数3千500人)の乗客が来泊する予定、JAおきなわは産物をはじめゴーヤ、カボチャなどの夏野菜や黒糖、シークワーサーゼリーの加工品も提供する。売り上げは千石を目標と見込む。

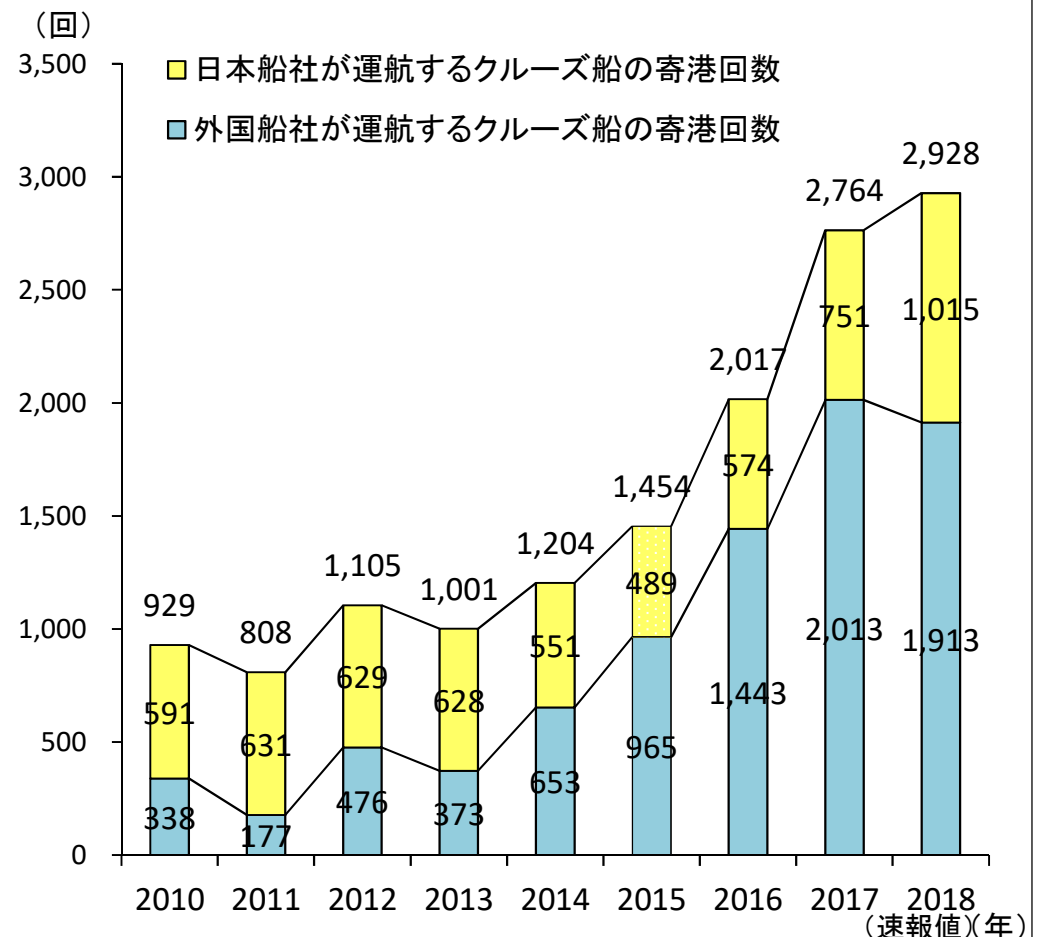
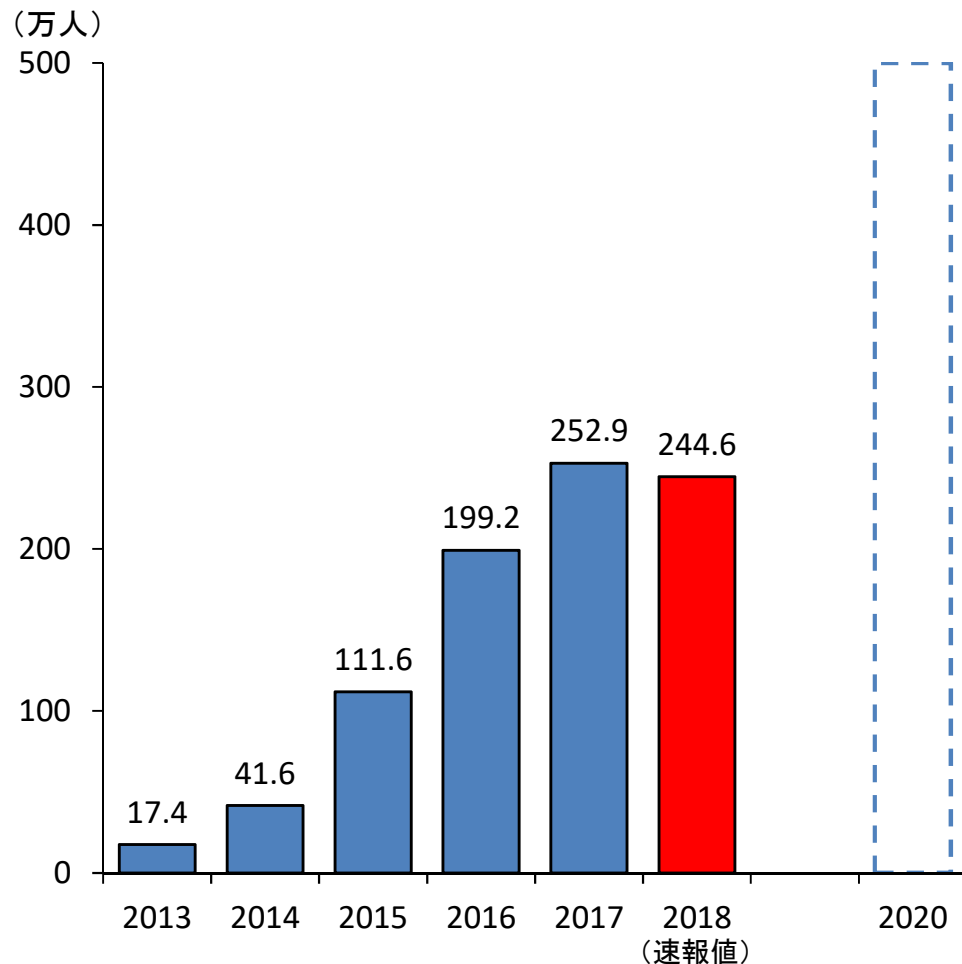
## 2018年夏季の沖縄へのゲンティン香港グループのクルーズ船寄港予定

客船	クルーズ期間(2018年)	発着地	寄港地
ワールドドリーム	4月1日～11月30日	香港、南沙	那覇、平良
スーパースターヴァーゴ	4月1日～7月27日	基隆、マニラ	那覇、平良、石垣
	9月1日～9月5日	上海	那覇、平良
スーパースターアケリアス	4月1日～6月10日	基隆	平良、石垣
	7月27日～10月28日		
スーパースタージェミニイ	6月13日～7月24日	高雄	平良、石垣、中城湾
	4月1日～4月25日	高雄	平良、石垣
	4月28日～10月30日	厦門	那覇、平良、中城湾

# クルーズ船の寄港に関する状況

○2018年に我が国へクルーズ船により入国した外国人旅客数は、前年比3.3%減の約244.6万人。我が国港湾へ寄港したクルーズ船の寄港回数は、前年比5.9%増の2,928回となり過去最高。うち、外国船社は前年比5.0%減の1,913回。日本船社は前年比35.2%増の1,015回。

※クルーズ：レジャーを目的とした船旅で宿泊を伴うもの



注1) 法務省入国管理局の集計による外国人入国者数で概数(乗員除く)。

注2) 1回のクルーズで複数の港に寄港するクルーズ船の外国人旅客についても、(各港で重複して計上するのではなく)1人の入国として計上している。

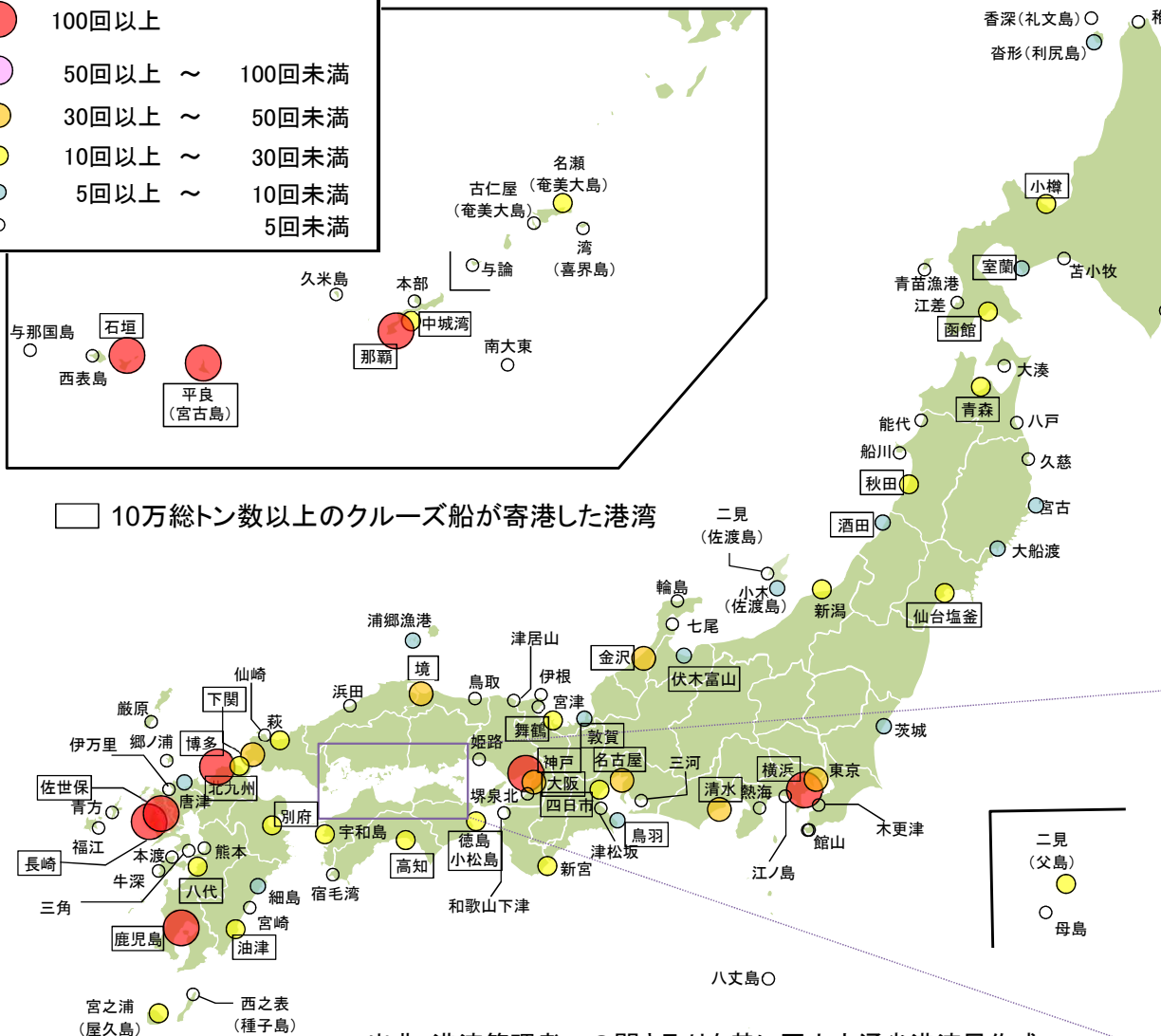


# クルーズ船の寄港する港湾

○2018年にクルーズ船が寄港した港湾の数は全国で139港。  
うち、大型クルーズ船(10万総トン数以上)が寄港した港湾は37港。

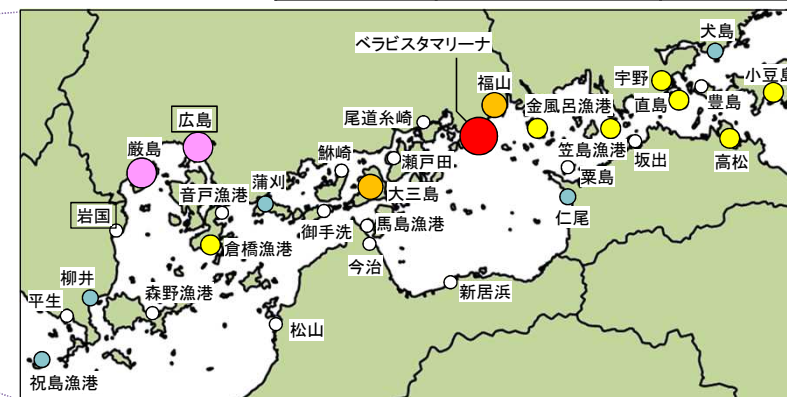
## クルーズ船の寄港する港湾 (2018年速報値)

凡 例	
● (Red)	100回以上
● (Pink)	50回以上 ~ 100回未満
● (Orange)	30回以上 ~ 50回未満
● (Yellow)	10回以上 ~ 30回未満
● (Light Blue)	5回以上 ~ 10回未満
○ (White)	5回未満



## 2018年クルーズ船の寄港回数(上位10港)

順位	港名	寄港回数
1位	博多港	279回
2位	那覇港	243回
3位	長崎港	220回
4位	横浜港	168回
5位	平良港	143回
6位	神戸港	135回
7位	ペラビスタマリーナ【広島県】	122回
8位	佐世保港	108回
9位	石垣港	107回
10位	鹿児島港	100回

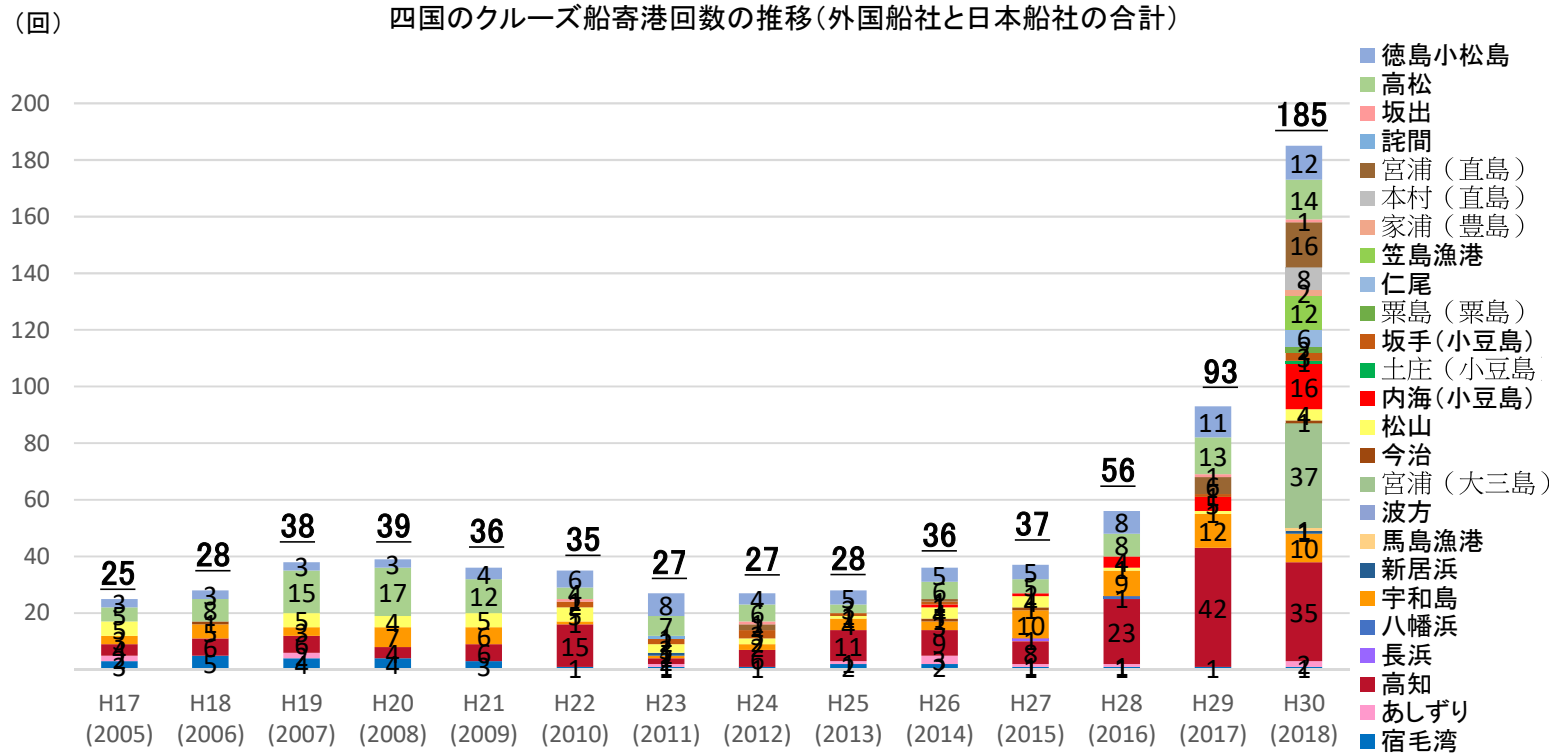


出典: 港湾管理者への聞き取りを基に国土交通省港湾局作成

# 四国の港湾へのクルーズ船寄港状況

○四国の港湾においてクルーズ船の寄港が急増。平成28年は56回であり、平成29年は過去最高の93回(前年比1.66倍)であった。クルーズ船による訪日乗降客は、平成29年は約95,700人<sup>(注)</sup>(前年比1.72倍)。  
○平成30年の寄港予定数は185回であった。

## 四国のクルーズ船寄港数の推移(外国船社と日本船社の合計)



2018.08.12「飛鳥Ⅱ」お出迎え



2018.10.20「アムステルダム」お見送り

### クルーズ船により四国を訪れた外国人旅客数(推計)

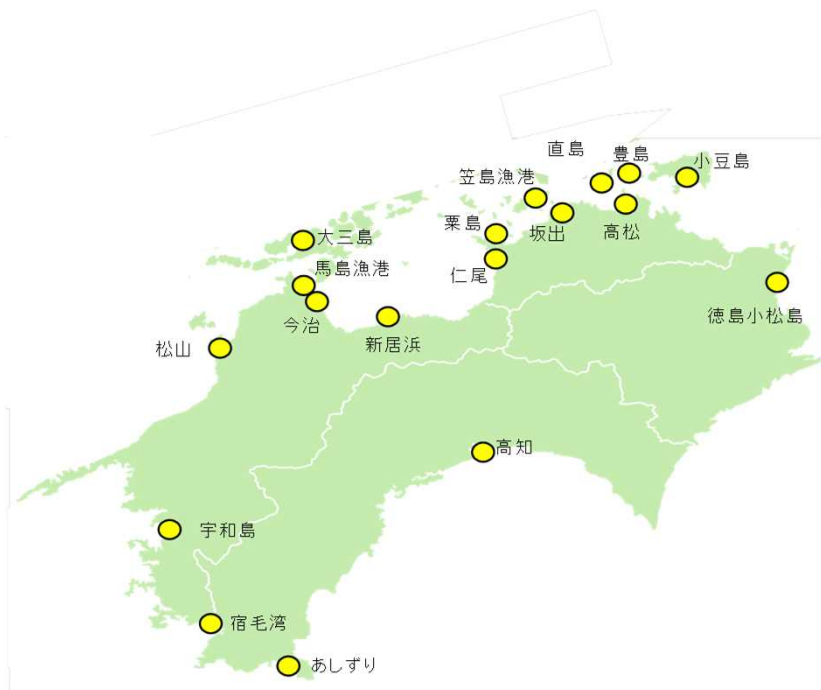
		2016年(実績)	2017年(実績)	2018年(実績)
外国人旅客数(人)	四国計 (前年比)	約55,700	約95,700	約63,900 (0.67倍)
日本人旅客数(人)	四国計 (前年比)	約13,000	約20,000	約35,700 (1.79倍)

注①上記は港湾管理者への聞き取りをもとに、国土交通省四国地方整備局にて作成。  
 ②四国の港に寄港したクルーズ船に乗船する旅客数を単純集計したもの。寄港地ごとに集計しているため、同一の旅客が複数の寄港地を訪れた場合は重複して計上している。  
 ③一部の公表不可なクルーズ船の旅客者数を除いている。

# 平成30年(1月～12月)四国におけるクルーズ船寄港状況

○クルーズ船寄港数は、昨年実績比約2倍に増加。旅客数の内訳を見ると、訪日外国人旅客数は減少(0.67倍)する一方、日本人旅客数は増加(1.79倍)している。

○大型船の寄港数が減少(平成29年26回 →平成30年18回)し、中小型船の寄港数が増加(平成29年 中小型船 67回 →平成30年 中小型船167回)している。



クルーズ船により四国を訪れた旅客数(推計)

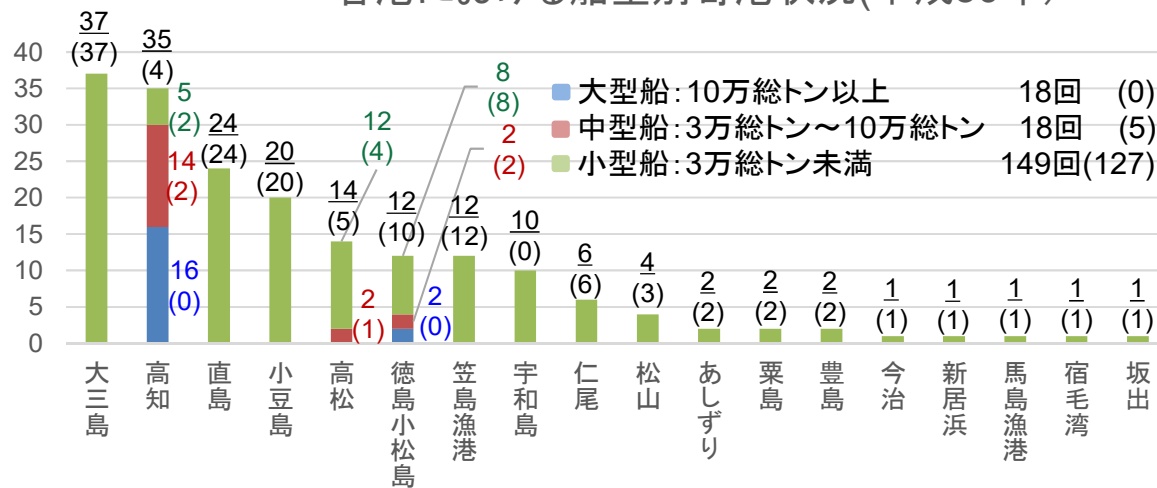
		平成28年(実績)	平成29年(実績)	平成30年(実績)
外国人旅客数(人)	四国計(前年比)	約55,700	約95,700	約63,900 (0.67倍)
日本人旅客数(人)	四国計(前年比)	約13,000	約20,000	約35,700 (1.79倍)

注① 上記は港湾管理者への聞き取りをもとに、国土交通省四国地方整備局にて作成。

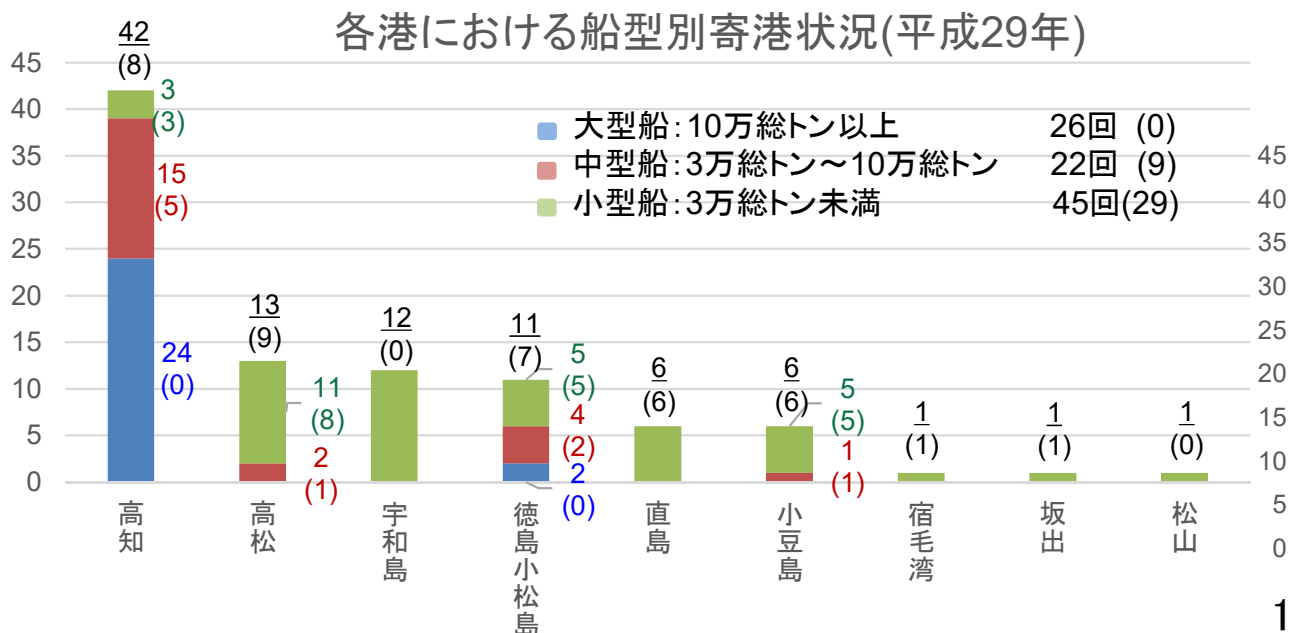
② 四国の港に寄港したクルーズ船に乗船する旅客数を単純集計したもの。寄港地ごとに集計しているため、同一の旅客が複数の寄港地を訪れた場合は重複して計上している。

③ 一部の公表不可なクルーズ船の旅客者数は除いている。

各港における船型別寄港状況(平成30年)



各港における船型別寄港状況(平成29年)



※( )書きは、日本船社の運航する船舶の寄港回数を示しており、内数である。

# 平成30年 四国へ寄港したクルーズ船一覽

平成30年 寄港実績 185回 (ガンツウ104回含む)  
 (参考：平成29年 寄港実績 93回)

## 【参考】クルーズ船 諸元比較例

入港月日	港名	船名	入港月日	港名	船名
1月5日	高松	にっぽん丸(内航)	5月19日	高松	ロストラル
1月29日	高知	コスタ・ネオロマンチカ	5月21日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
3月10日	徳島小松島港	にっぽん丸(内航)	5月25日	あしずり	にっぽん丸(内航)
3月12日	高知	コスタ・セレーナ	5月26日	坂出	にっぽん丸(内航)
3月16日	高知	クイーン・エリザベス	5月30日	高知	にっぽん丸(内航)
3月20日	高知	飛鳥Ⅱ(内航)	6月4日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
3月24日	高松	にっぽん丸(内航)	6月7日	高松	ロストラル
3月26日	高松	にっぽん丸(内航)	6月7日	高知	クァンタム・オブ・ザ・シーズ
3月28日	松山	カレドニアンスカイ	6月8日	高知	コスタ・ネオロマンチカ
3月29日	高知	クァンタム・オブ・ザ・シーズ	6月9日	高知	コスタ・セレーナ
3月30日	高松	カレドニアンスカイ	6月11日	宇和島	カレドニアンスカイ
4月2日	宇和島	カレドニアンスカイ	6月17日	宇和島	カレドニアンスカイ
4月4日	徳島小松島港	マジスティック・プリンセス	6月25日	高知	マジスティック・プリンセス
4月7日	高松	ばしふいっくびいなす(内航)	8月12日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
4月8日	高松	ロストラル	8月12日	徳島小松島港	飛鳥Ⅱ(内航)
4月10日	高知	スター・レジェンド	8月13日	徳島小松島港	ダイヤモンド・プリンセス
4月12日	宇和島	ロストラル	8月13日	高松	飛鳥Ⅱ(内航)
4月13日	高知	マジスティック・プリンセス	8月14日	徳島小松島港	ばしふいっくびいなす(内航)
4月15日	宇和島	カレドニアンスカイ	8月15日	徳島小松島港	にっぽん丸(外航)
4月17日	高松	カレドニアンスカイ	8月16日	高知	ボイジャー・オブ・ザ・シーズ
4月19日	高松	シルバー・ディスカバー	8月18日	高知	ダイヤモンド・プリンセス
4月19日	高知	セブリティ・ミレニアム	8月18日	徳島小松島港	にっぽん丸(内航)
4月22日	宇和島	ロストラル	9月27日	あしずり	ばしふいっくびいなす(内航)
4月22日	高知	フォーレンド	10月4日	高知	セブリティ・ミレニアム
4月23日	高知	スター・レジェンド	10月5日	高松	スター・レジェンド
4月25日	高知	スター・レジェンド	10月6日	高知	コスタ・セレーナ
4月25日	高知	ノルウェー・ジャン・ジュエル	10月7日	高松	スター・レジェンド
4月28日	宇和島	ロストラル	10月7日	徳島小松島港	にっぽん丸(内航)
4月29日	高知	ノルウェー・ジャン・ジュエル	10月8日	高知	ノルウェー・ジャン・ジュエル
4月30日	高知	コスタ・ネオロマンチカ	10月13日	今治	にっぽん丸(内航)
5月2日	徳島小松島港	ばしふいっくびいなす(内航)	10月18日	高知	セブリティ・ミレニアム
5月6日	小豆島	ばしふいっくびいなす(内航)	10月20日	高知	アムステルダム
5月6日	宇和島	カレドニアンスカイ	10月20日	宿毛湾	ばしふいっくびいなす(内航)
5月7日	高知	ダイヤモンド・プリンセス	10月26日	高知	にっぽん丸(内航)
5月7日	徳島小松島港	にっぽん丸(内航)	10月28日	高知	MSCスプレンドイダ
5月8日	宇和島	ロストラル	10月30日	松山	ばしふいっくびいなす(内航)
5月9日	徳島小松島港	にっぽん丸(内航)	11月1日	松山	ばしふいっくびいなす(内航)
5月12日	宇和島	カレドニアンスカイ	11月6日	高知	MSCスプレンドイダ
5月13日	高知	MSCスプレンドイダ	11月20日	高知	飛鳥Ⅱ(内航)
5月14日	松山	ばしふいっくびいなす(内航)	11月24日	徳島小松島港	飛鳥Ⅱ(内航)
5月14日	高松	シーボン・ソジャー	※ガンツウ 寄港回数 104回		

船名/(乗客定員)	船型・同縮尺イメージ	写真
ガンツウ (日本船社) (38人)	総トン数 3,200トン  全長81.20m	
カレドニアンスカイ (外国船社) (101人)	総トン数 4,200トン  全長90.60m	
ロストラル (外国船社) (264人)	総トン数 10,700トン  全長142.0m	
飛鳥Ⅱ (872人) ※日本船最大	総トン数 50,142トン  全長 241.0m	
クイーン・エリザベス (外国船社) (2,081人)	総トン数 90,901トン  全長 294.0m	
クァンタム・オブ・ザ・シーズ (外国船社) (4,180人) ※四国寄港最大級	総トン数 167,800トン  全長 347.8m マスト高 62.9m 参考) 高松サンポート合同庁舎 高さ約67m	

※ガンツウ寄港回数104回については、寄港地等非公表のため合計値のみ記載。

出典:「クルーズシップコレクション(海事プレス社)」を基に作成。

# クルーズ船の建造状況

- 世界中の旺盛なクルーズ需要に対応するため、クルーズ船社は、大型クルーズ船を中心に造船所に発注しており、今後、2026年までに121隻のクルーズ船が建造される。
- 成長著しいアジア市場は、今後もより多くの新造船が投入される可能性がある。

## 2018年以降建造されるクルーズ船の隻数

就航年	隻数	配船先					
		アジア	欧州	北米	南半球	世界配船	未定
2018	14		2	6		6	
2019	24	2	2	6	2	12	
2020	19	2	1	3		9	4
2021	20	1				11	8
2022	17					8	9
2023	9	1		1		1	6
2024	6	1				1	4
2025	5					2	3
2026	7					3	4
計	121	7	5	16	2	53	38

※欧州、カリブはそれぞれ相互に配船される可能性がある。

出典：Cruise Industry News ほか業界紙等より  
国土交通省港湾局が作成(2018年9月現在)

## 2020年までにアジアに配船予定のクルーズ船

船社名	総トン数	乗客定員	配船先	竣工費(百万ドル)
コスタ・クルーズ	135,500	4,200	中国	780
ロイヤル・カリビアン・クルーズ	167,000	4,100	中国	950
ドリーム・クルーズ	204,000	5,000	中国	1,100
コスタ・クルーズ	135,500	4,232	中国	780
MSCクルーズ	167,600	4,500	中国	900

※MSCクルーズは2019年に新造船を就航させ、欧州配船の後、2020年にアジアに配船予定

ロイヤル・カリビアン・クルーズ  
「クァンタム・オブ・ザ・シーズ」級



カジュアル

総トン数：168,666トン  
乗客定員：4,180人

コスタ・クルーズ  
「コスタ・ディアデマ」級



カジュアル

総トン数：133,019トン  
乗客定員：3,963人

アジア市場の成長に伴い、より多く配船される可能性がある。20

# 「訪日クルーズ旅客500万人」の実現に向けた取組

北東アジア海域をカリブ海のような世界的なクルーズ市場に成長させ、クルーズ船の寄港を活かした地方の創生を図るため、目標を「訪日クルーズ旅客を2020年に500万人」とし、以下の施策を推進。

## 「お断りゼロ」の実現

### クルーズ船の受入環境の緊急整備

#### 〈清水港〉



新しく設置した係船柱

既存の係船柱

係船柱の整備事例

### 乗船客の安全性・利便性の確保

ハード

#### 〈横浜港〉

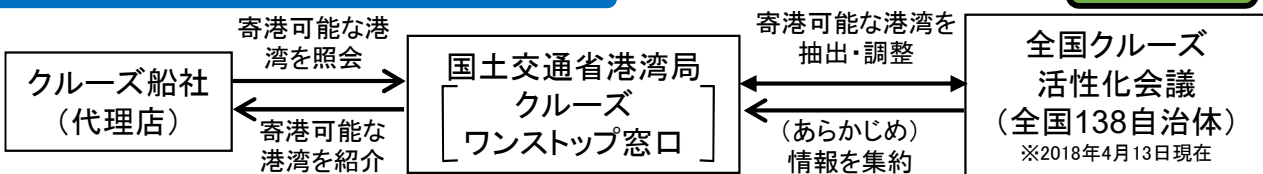
国際クルーズ  
旅客受入機能  
高度化事業



大型テントの設置(イメージ)

### クルーズ船寄港地マッチングサービス

ソフト



## 寄港地の全国展開

### 商談会の開催

ソフト

・「全国クルーズ活性化会議」と連携して、クルーズ船社、自治体等が参加する商談会を開催。



### 寄港地情報の一元的発信

・クルーズ船社が必要とする情報をウェブサイトで一元的に発信

- ① 港湾施設の諸元
- ② 寄港地を起点とした観光情報

## 国際クルーズの拠点形成

### 官民連携による国際クルーズ拠点の形成

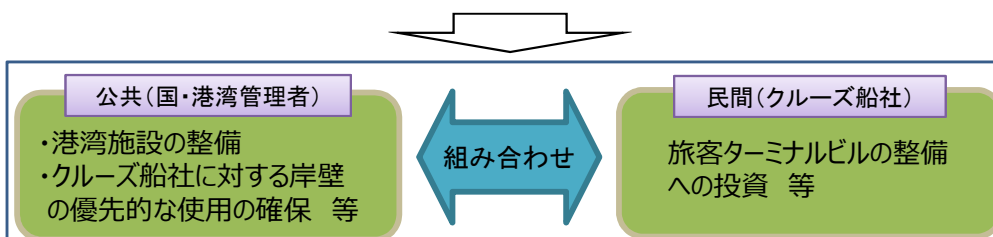
ハード ソフト

海外におけるクルーズ船社の投資例  
ファルマス港(ジャマイカ)



クルーズ船社がショッピングエリアを整備

○岸壁の優先使用を希望する民間の投資意欲を活用し、クルーズ船の受入環境として必要な旅客ターミナルビルの整備を推進



## 新たなクルーズビジネスの活用

ソフト

- ・みなとオアシスの活用
- ・港湾協力団体制度の活用
- ・Wi-Fi (観光拠点情報・交流施設) の整備支援

訪日クルーズ旅客数500万人の実現に向けて、クルーズ旅客の利便性や安全性の向上及び物流機能の効率化を図るための事業を実施する者(地方公共団体又は民間事業者)に対し、その経費の一部を国が補助する。

## 事業概要

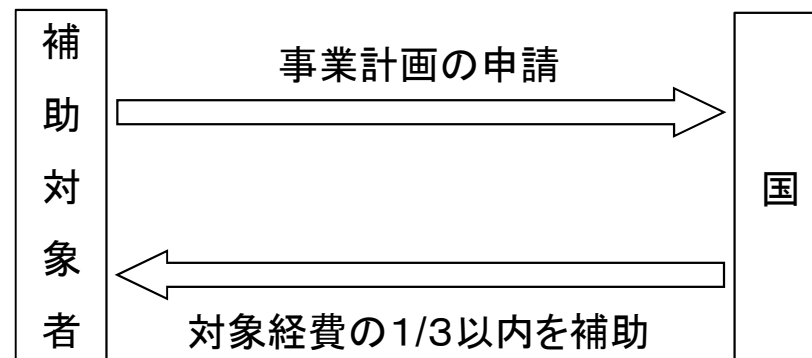
### ■補助対象経費

- ・クルーズ旅客の移動又は手荷物等の搬出入の円滑化に要する経費
- ・クルーズ旅客が利用する旅客上屋等の受入環境改善に要する経費
- ・クルーズ旅客の安全性の向上に要する経費 等

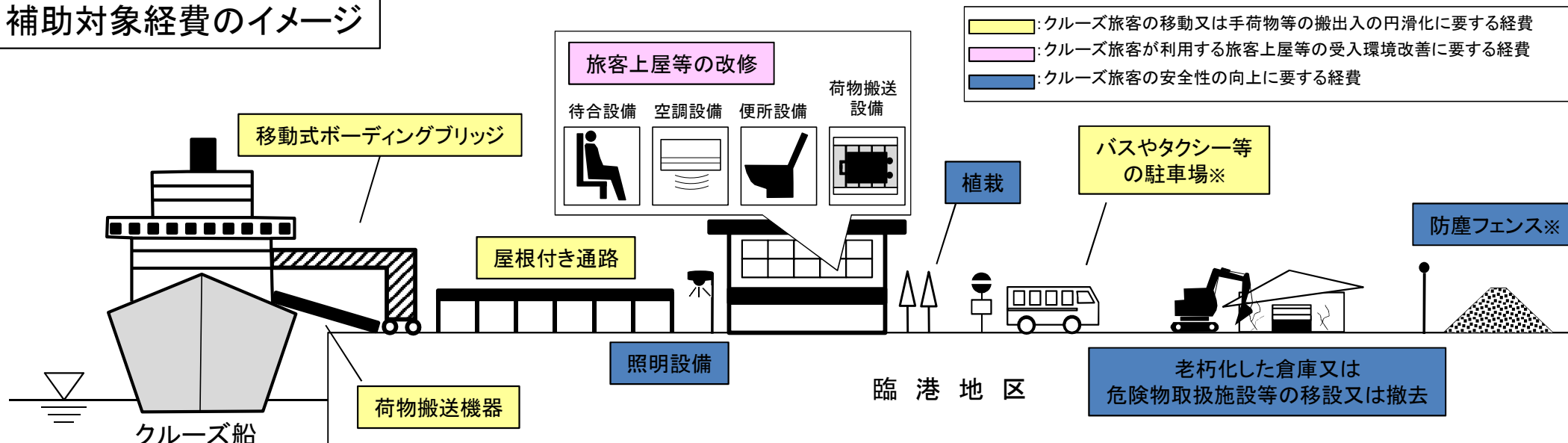
### ■補助対象者

地方公共団体(港務局を含む。)又は民間事業者

### ■事業スキーム



## 補助対象経費のイメージ



# 「官民連携による国際クルーズ拠点形成する港湾」の状況

- これまで「国際旅客船拠点形成港湾」として7港を指定。平成30年10月から12月まで第3回目の募集を実施した。
- 募集の結果、下関港及び那覇港が応募。各港の連携する船社の優先交渉権者は下関港がMSCクルーズ。那覇港がMSCクルーズ及びロイヤル・カリビアン・クルーズの連名。

## 官民連携による国際クルーズ拠点の形成

国が指定した港湾において、港湾管理者とクルーズ船社との間で、以下の内容の協定を締結できる制度等を創設。

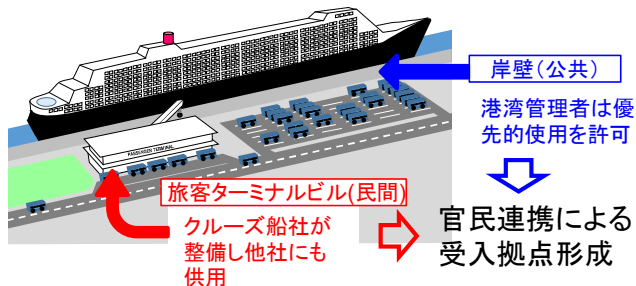
- ・港湾管理者はクルーズ船社に岸壁の優先的な使用を認める
- ・船社は旅客施設を整備し、他社の使用も認める

受入拠点の形成を図る港湾を国が指定

港湾管理者が受入拠点の形成のための計画を作成

港湾管理者が民間事業者と協定を締結

## 【官民の連携による拠点形成のイメージ】



## 【岸壁の優先使用のイメージ】

・A社(協定船社)による予約(1年半程度前)

月	火	水	木	金	土	日
	A社		A社		A社	

・A社の予約完了後、その他の社が予約

月	火	水	木	金	土	日
B社	A社	C社	A社		A社	

港湾名 (港湾管理者)	第1次募集分 H29.1.31 選定 H29.7.26 「国際旅客船拠点形成港湾」指定						第2次募集分 H30.2.27 選定 H30.6.29 指定	第3次募集分 (申請中)	
	横浜港 (横浜市)	清水港 (静岡県)	佐世保港 (佐世保市)	八代港 (熊本県)	本部港 (沖縄県)	平良港 (宮古島市)	鹿児島港 (鹿児島県)	下関港 (下関市)	那覇港 (那覇港管理組合)
運用開始年	H31	H32				H34			
船社名									
カーニバル・コーポレーション&plc	○		○			○			
ロイヤル・カリビアン・クルーズ				○			○		○
ゲンティン香港		○			○				
郵船クルーズ	○								
MSCクルーズ								○	○

※ カーニバル・コーポレーション&plc:世界やアジアで半分のシェアを持つクルーズ会社グループ。傘下に、コスタ・クルーズ社、プリンセス・クルーズ社などクルーズ・ブランドを有している。

※ ロイヤル・カリビアン・クルーズ:オアシス・オブ・ザ・シーズなど世界最大のクルーズ船を有するクルーズ会社グループ。

※ ゲンティン香港:傘下に、スタークルーズなどのクルーズ・ブランドを有し、台湾、香港等を発着するクルーズを多く運航するなど、アジアを中心に運航するクルーズ会社グループ。

※ 郵船クルーズ:飛鳥IIを所有する邦船社。

※ MSCクルーズ:ヨーロッパ市場において大きなシェアを持つクルーズ会社。近年、積極的なアジア進出をしている。親会社をスイスに置き、コンテナ海運会社としても世界第2位。